

3. 馬場地区

■ 区間

宮島町交差点～本町交差点

■ 主な関係団体

互運会、パワ 通り商店街、中央連合会自治会、千手町自治会、相生町自治会、馬場町自治会、鉄砲町自治会



景観特性

- 二荒山神社前から発展した、市の中心部である商業・業務地景観が展開します。
- 都市再生が進み、新旧、大小の建築物が混在し、今後も景観の変化が続きます。
- 二荒山神社、各種祭事など、宇都宮市独自の歴史的景観が展開します。



大通りのシンボルである二荒山神社の歴史的景観



再開発により創出された市民広場のにぎわい景観



再開発により創出されたゆとりある街路(歩道)景観



低層部のにぎわいを演出する商業地景観



再開発事業が検討されている旧来の商業地景観(地区西側)



再開発事業が検討されている旧来の商業地景観(地区東側)

景観づくりのキーワード

地区の主なご意見 ○：良い、△：改善

大通り全体

- ベンチなどの休憩空間 ○フラッグ、イルミネーションの賑わい
- △歩道舗装デザインの不統一 △アーケードのデザイン不統一
- △緑の維持管理 △車優先のまち、歩道狭い箇所あり
- △建物の色彩 △青空駐車場で街並みが途切れる
- △歩道上立て看板、自転車、落書き △地区の案内板必要
- △大谷石使用少ない △周辺から突出している屋外広告物

大通り全体の景観づくりの目標

馬場地区独自

- 二荒山神社の緑 ○釜川プロムナード
- 再開発地は都会風な活気があり、歩道も広く歩きやすい
- 建物前の広場的空間
- フラワーボックスの統一感
- △二荒山神社前広場に活気必要
- △広場状空間の活用 △共同ビルの更新
- △憩える場が少ない

景観現況調査結果

【馬場町地区の景観特性】

- ◆二荒山神社前から発展した、市の中心部である商業・業務地景観
- ◆都市再生が進み、新旧、大小の建築物が混在し、今後も変化が続く景観
- ◆二荒山神社、各種祭事など、宇都宮市独自の歴史的景観

二荒山神社を核として、市を代表する商業地としての風格、秩序あるにぎわいを呈する、人々が誘われる景観づくり

景観づくりの目標

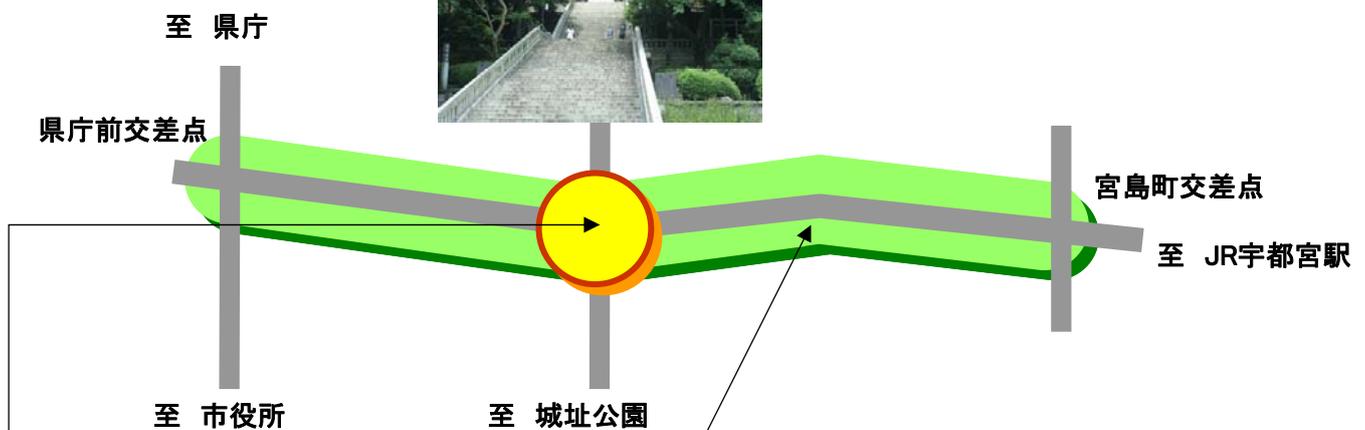
■ 将来目標像 ■

二荒山神社の門前にふさわしい、秩序あるにぎわいが連続し、歩きたくなる街・馬場地区

二荒山神社を核として、宇都宮市を代表する商業地としての風格、秩序あるにぎわいを呈する、人々が誘われる景観を形成します。

■ 景観づくりの目標 ■

馬場地区においては、二荒山神社前の交差点周辺とその他の大通り区間とに細区分し、以下の景観づくりの目標を』定めます。



I 二荒山神社を核とした、風格とにぎわいのある景観づくり

1 二荒山神社前としての風格を保ちます

- ①建築物は落ち着きのある形態、色彩とします。
- ②屋外広告物等を境内側に掲示しません。

2 にぎわいの中心を創出します

- ①広場を活用します
- ②角地において魅力的な景観を創出します
- ③屋外広告物のデザインを工夫します
- ④魅力的な夜間景観を形成します

II 二荒山神社への参道的な区間における、秩序あるにぎわい景観づくり

1 見通し景観に秩序を感じる景観を保全します

- ①中高層部の壁面の位置を整えます
- ②中高層部の外壁は落ち着きのある色彩とします
- ③良好な屋外広告物景観を形成します

2 低層部がにぎわい、歩きたくなる景観を形成します

- ①1階部はにぎわいを創出します
- ②角地において、人を誘う空間を創出します
- ③明るく歩きやすい歩行空間を形成します
- ④屋外広告物のデザインを工夫します
- ⑤広場的空間を活用します
- ⑥大谷石を活用します
- ⑦地区で緑を育みます
- ⑧地区独自のフラッグを連続して掲示します

I 二荒山神社を核とした、風格とにぎわいのある景観づくり

■ 景観づくりの目標イメージ ■

現 状



1-① 建築物は落ち着きのある形態、色彩とします。

1-② 屋外広告物等を境内側に掲示しません。

2-① 広場を活用します。

2-② 角地において魅力的な景観を創出します。

2-③ 屋外広告物のデザインを工夫します。

将来の景観像イメージ



※西側の建物は「うつのみや表参道スクエア」の画像を加工し、配置したものであり、実際の建築計画とは異なります。◀

1 二荒山神社前としての風格を保ちます。

【景観づくりの考え方】

バンバ広場を囲む建築物等は、二荒山神社の神前に位置することから、建築物や屋外広告物の形態、色彩等の意匠に配慮し、風格ある景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

①建築物は落ち着きのある形態、色彩とします。

- ・ 落ち着きのある形態とします。
- ・ 外壁等の色彩は、高明度、低彩度の落ち着きのある色彩を採用します。



高明度、低彩度の色彩の建築物が建ち並ぶ、落ち着いた景観

②屋外広告物等を境内側に掲示しません。

- ・ 境内側に屋外広告物、室内側からの窓面広告を掲示しません。

2 にぎわいの中心を創出します。

【景観づくりの考え方】

バンバ広場および周囲を囲む建築物、道路空間により、新しいにぎわいの中心を創出します。

【景観づくりの具体方策】

①広場を活用します。

- ・ 広場を中心に周囲の建築物の1階ショールームに馬場地区や大通りにちなむ事物を展示したり、無線LANを設置し、インターネットの利用を可能とするなど、地区の情報発信を拡充します。
- ・ 二荒山神社の祭事に加え、大小のイベント（ストリートパフォーマンス、バザー等）を絶えず開催し、にぎわいを生み出します。
- ・ 開放的な店舗で広場を囲むとともに、オープンカフェの運営や移動販売車の設置等により、絶えず集客を行い、にぎわいのある景観を形成します。
- ・ 多様な世代を対象とするイベントを展開します。



多様な世代参加イメージ
(バザー)
出典) 栃木県中心市街地
活性化推進協議会パンフ
レット



広場を、開放的な店舗が
取り囲む景観



にぎわいを演出する移
動販売車等、来訪者へ
のサービス施設の景観

②角地において魅力的な景観を創出します。

- ・二荒山神社前の交差点部は、再開発商業ビルと連携し、にぎわいを増すデザインとします。



周辺の商業施設と調和する、魅力的な角地の景観イメージ

③屋外広告物のデザインを工夫します。

- ・掲示面積を最小限にします。
- ・箱文字を採用するなど、屋外広告物のデザインを工夫し、宇都宮の中心部にふさわしい屋外広告物景観を形成します。



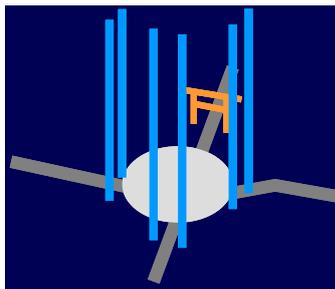
箱文字化による掲示面積の縮小イメージ



質の高い屋外広告物が、良好な景観形成に寄与するイメージ

④魅力的な夜間景観を形成します。

- ・馬場通り交差点付近でのイルミネーション等の夜間景観づくりを馬場地区全体に展開します。
- ・連続するフットライトやシンボリックなライトアップ、イルミネーションの活用などにより、魅力的な夜間景観を形成します。



シンボリックなライトアップイメージ
(交差点部にてゲートをイメージさせる上方へのサーチライト)



魅力的なイルミネーションによる夜間景観

Ⅱ 二荒山神社への参道的な区間における、秩序あるにぎわい景観づくり

景観づくりの目標イメージ（二荒山神社より東側）

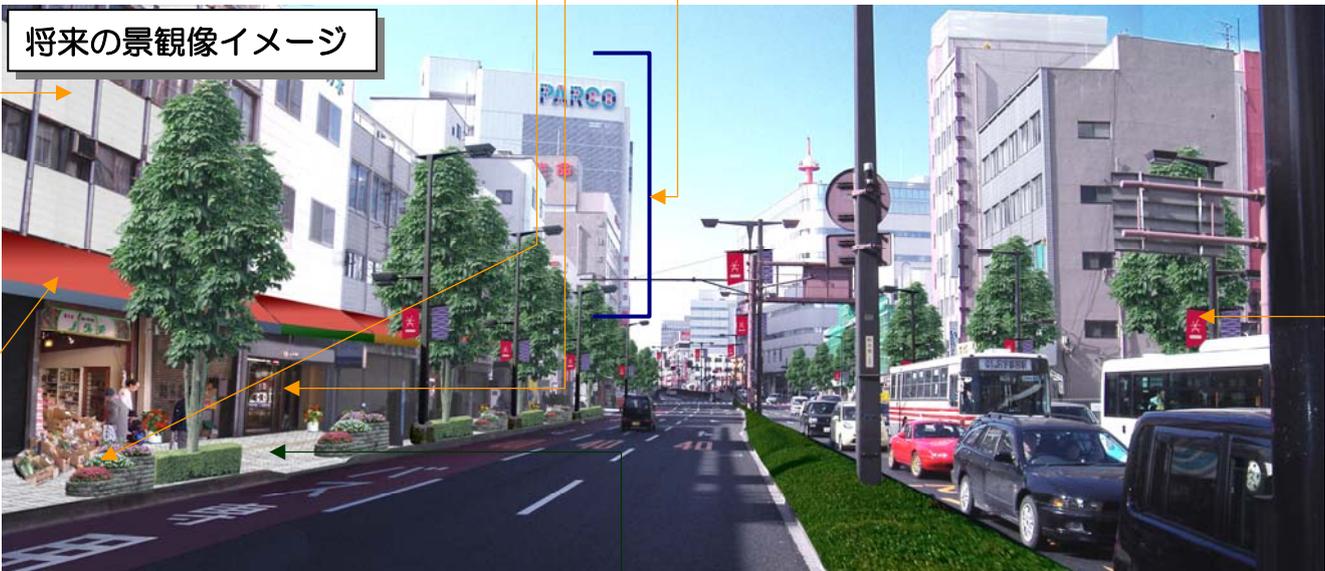


現状

- 1-① 中高層部の壁面の位置を整えます。
- 1-② 中高層部の外壁は落ち着いたある色彩とします。

- 2-① 1階部はにぎわいを創出します。
- 2-⑥ 大谷石を活用します。
- 2-⑦ 地区で緑を育みます。
- 2-⑧ 地区独自のフラッグを連続して掲示します。

将来の景観像イメージ



- 2-① 老朽アーケードをオーニングテントで代替し、低層部のにぎわい楽しさの演出します。アーケード支柱後に街路樹を補植します。

- 2-① 安全で歩きやすい歩行空間の創出します。歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)を図ります。

: 宮の橋地区の景観づくりの目標関連
 : 大通り全体の景観づくりの目標関連

■ 景観づくりの目標イメージ（二荒山神社より西側） ■



現状



1-① 中高層部の壁面の位置を整えます。

1-② 中高層部の外壁は落ち着いた色彩とします。

1-③ 良好な屋外広告物景観を形成します。

2-⑦ 地区で緑を育みます。

2-⑧ 地区独自のフラッグを連続して掲示します。



将来の景観像イメージ

2-① 安全で歩きやすい歩行空間の創出します。
歩道の高質化(舗装、緑化、照明、バス停等)を図ります。

2-① 老朽アーケードをオーニングで代替し、
低層部のにぎわい楽しさの演出します。
アーケード支柱後に街路樹を補植します。

□ : 宮の橋地区の景観づくりの目標関連 □ : 大通り全体の景観づくりの目標関連

景観づくりの方針

1 見通し景観に秩序を感じる景観を保全します。

【景観づくりの考え方】

中高層建築物の壁面の位置がそろい、落ち着きのある色彩を基調とする、二荒山神社の参道的な空間として風格を感じる景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

①中高層部の壁面の位置を整えます。

- ・道路に面する、基調となる壁面の位置は周辺の建築物に概ね揃えます。



壁面が揃って中高層建築物が立ち並ぶ見通し景観

②中高層部の外壁は落ち着きのある色彩とします。

- ・周辺景観と調和し、落ち着きのある色彩とします。
(彩度3以下)
- ・中高層部は圧迫感を軽減する色彩とします。



落ち着いた色彩景観イメージ

③良好な屋外広告物景観を形成します。

- ・中高層部に掲出する場合、地色を統一し(白色等)、文字の色にコーポレートカラー※を用いるなど、周辺との調和を図ります。

※) コーポレートカラー：企業や組織を象徴する色



袖看板の色彩調和イメージ(地色を白、文字色に地色採用)

2 低層部がにぎわい、歩きたくなる景観を形成します。

【景観づくりの考え方】

低層部は店舗やショールーム、事業所が並び、内部の活動が伺えるにぎわいのある景観を形成するとともに、明るく歩きやすい歩行空間が展開し、広場の空間が憩いの場となる、歩きたくなる景観を形成します。

【景観づくりの具体方策】

① 1階部はにぎわいを創出します。

- ・再開発時に建物前に空地を創出し、人々が賑わう景観を形成する。



再開発により、店舗前に広場状空間を創出し、オープンカフェ等を営む、にぎわい景観イメージ

- ・老朽化したアーケード等を撤去し、同形態のオーニングテントを設置するなど、まとまりのある明るい商店街景観とします。
- ・オーニングテントの色彩は、基調となる色彩を定め、部分的に各店舗が自由にアクセント色を使用するなど、まとまりある色彩景観とします。



老朽アーケードを撤去し、庇機能をオーニングテントで代替するとともに、街路樹を植栽するイメージ

- ・再開発時に共同ビルの形態、構造をデザインモチーフとするなど、地区の歴史を反映させます。



かつて最先端の商業施設であった共同ビルが建ち並ぶ、特徴的な景観 - 55 -



共同ビルのデザインをモチーフとした再開発イメージ

②角地において人を誘う空間を創出します。

- ・宮島町交差点等、本地区の両端部の交差点部において、再開発時ににぎわいを感じさせる、来訪者が滞留する広場的空間を創出します。(街の顔作り)



再開発により、角地に広場的空間を創出し、にぎわいを演出する景観イメージ

③明るく歩きやすい歩行空間を形成します。

- ・建築物のセットバックによる建物前空間を歩道と一体的に整備し、ゆとりある歩行空間を形成します。
- ・自転車置場の整備により、適切な駐輪を促すなど、占用物の氾濫を防止します。
- ・植栽へのイルミネーションの設置等により、夜間のにぎわいを演出します。



低層部がセットバックし、歩道とともにゆとりある歩行空間を創出(再開発整備後)

④屋外広告物のデザインを工夫します。

- ・周辺の建築物と調和するデザインにより、良好な屋外広告物景観を形成します。
- ・外壁上部や屋上から、歩行者に近い部分に広告物を移動し、規模を縮小するとともに、よりデザイン性の高いものを掲示することで良好な広告物景観を形成します。



質の高い屋外広告物による、良好な屋外広告物景観



屋外広告物が外観意匠の一部としてデザインされている、良好な屋外広告物景観

⑤広場的空間を活用します。

- ・人々が憩える広場状空間を創出し、イベント時の活用やオープンカフェ等としての活用により、にぎわい景観を形成します。



既存の広場状空間の活用イメージ

⑥大谷石を使用します。

- ・既存の大谷石を使用した建築物等とあわせ、大谷石を積極的に活用します。

地区を代表する空間整備に大谷石を素材として採用



中高層建築物の低層部の外壁素材への大谷石の採用(市内レストラン)



⑦地区で緑を育みます。

- ・地区により管理された、うるおいを感じさせる低木、プランターの草花等豊かなみどりを配置します。
- ・店先に緑・花を育みます。



地域が育む花、緑

⑧地区独自のフラッグを連続して掲示します。

- ・二荒山神社の祭事に一時的にフラッグ等を掲示し、にぎわいのある景観を形成します。



宮染めなど、地域の伝統工芸を活用したフラッグの連続掲出イメージ

I 二荒山神社を核として、風格とにぎわいのある景観を形成します

二荒山神社前の景観づくりイメージ



※西側の建物は「うつのみや表参道スクエア」の画像を加工し、配置したものであり、実際の建築計画とは異なります。

II 二荒山神社への参道的な区間における、秩序あるにぎわい景観を形成します



二荒山神社への参道区間の景観づくりイメージ

1 二荒山神社前としての風格を保ちます。

① 建築物は落ち着いた形態、色彩とします。屋外広告物等を境内側に掲示しません。

- ◆ 落ち着いた形態
- ◆ 落ち着いた色彩
- ◆ 広場を挟む建物における境内側への屋外広告物、窓面広告の掲示抑制



● 落ち着いた色彩、屋外広告物の無掲出

2 にぎわいの中心を創出します

① 広場を活用します。

- ◆ 情報発信基盤整備
- ◆ 移動販売車等にぎわい創出
- ◆ 広場を囲む開放的な店舗
- ◆ 多様な世代を対象とするイベントの展開



● 移動販売車イメージ



● 多様な世代参加イメージ(ハザー)



● 常ににぎわう広場イメージ

③ 角地において魅力的な景観を創出します。

- ◆ にぎわいを増すデザイン採用



● 現状

● にぎわいを増す景観イメージ

④ 屋外広告物のデザインを工夫します。

- ◆ 掲示面積の最小化、箱文字等の採用



● 箱文字イメージ



● 現状



● 箱文字化イメージ

⑤ 魅力的な夜間景観を形成します。

- ◆ イルミネーション等の設置拡大
- ◆ シンボリックなライトアップ



● 魅力的なイルミネーション

● シンボリックなライトアップイメージ(交差点部にてゲートをイメージさせる上方へのサーチライト)

3 見通し景観に秩序を感じる景観を保全します。

① 中高層部の壁面を整えます。中高層部の外壁は落ち着いた色彩とします。

- ◆ 中高層部の壁面位置の調和
- ◆ 中高層部における落ち着いた色彩の採用



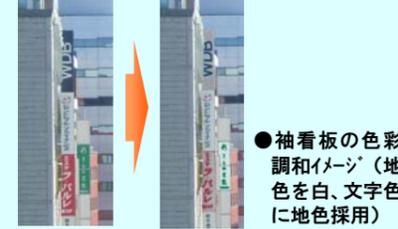
● 壁面位置の調和

● 現状

● 色彩調和イメージ

② 良好な屋外広告物景観を形成します。

- ◆ 中高層部に掲示する屋外広告物の色彩の建築物との調和



● 現状

● 袖看板の色彩調和イメージ(地色を白、文字色に地色採用)

④ 屋外広告物のデザインを工夫します。

- ◆ デザイン性の高い広告物の掲示
- 左 ● デザインされた屋外広告物(各階テナント紹介)
- 右 ● 質の高い広告物掲示



4 低層部がにぎわい、歩きたくなる景観を形成します。

① 1階部はにぎわいを創出します。

- ◆ 再開発時の建物前空地の創出
- ◆ 老朽アーケード代替、街路樹充実
- ◆ 共同ビルのデザイン継承



● 現状

● 再開発により、建物前空地を創出し、パサール等によるにぎわい創出イメージ

● 内部のにぎわいを見せるデザイン

② 角地において、人を誘う空間を創出します。

- ◆ 交差点部におけるにぎわい空間創出



● 歩行者を誘う開放的な角地のデザイン

● 現状

● 角地に広場状空間を創出するイメージ

③ 広場的空間を活用します。

- ◆ オープンカフェ等の運営
- ◆ 憩い空間の創出



● 現状

● オープンカフェイメージ

